



鮑	葡萄	枸杞	大根漬	独活	芋莖	黑豆	水圓	軟飯	○上品 陸
鱧	熟栗	榧實	山椒	玉筆	牛房	白角豆	粽	白粥	
鱧	鱈	胡桃	葛粉	生姜	芥	蔓菁	蕪	粟粥	
海月	鮑	覆盆	五加皮	瓜漬	款冬	大根	蕪燒	大麦	

日用食性目録



Handwritten text in cursive style, likely a list of ingredients or recipes, including characters like 鮑, 鱧, 海月, 葡萄, 熟栗, 榧實, 胡桃, 覆盆, 大根, 独活, 玉筆, 生姜, 瓜漬, 芋莖, 芥, 款冬, 黑豆, 白角豆, 蔓菁, 大根, 水圓, 粽, 蕪, 蕪燒, 軟飯, 白粥, 粟粥, 大麦.



蓼葉	茄子	饒	糯米	白鷺	煎海龍	大口貝	海螺	江批	鮫	昆布
蕺菜	苦瓠	饒子	麩	鹿肉	白臭	鯛	菜螺	鮑魚	鱈	藕根
蒟蒻	熟瓜	蒜芥子	蕎麥	猪肉	鴨	鮭	王餘貝	蚶	鮓魚	鮑魚
芥菜	胡瓜	菊	胡油	獺肉	雞	鷓鴣	鮑魚	田螺	海批	鮓魚

材	笋	藜	韭	醋	赤小豆	牛肉	鷄	鷹	鷓鴣	馬賊
榛子	茨菰	蒲葦	芋	酒	中品	羊肉	雲雀	鷹	鷓鴣	石交明
梅子	鬼茨	冬瓜	蒿苳	茶	麩		鳴	青鷺	鷓鴣	牡蛎
櫛	栗	越瓜	苜蓿	葱	醬油		雀	鳩	鷓鴣	鷓鴣



とろろすくすせりりこせりり  
ららららららららららららら  
とめりりりりり

**松園** 并ららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

**楚** みそららららららららら  
ゆわらららららららららら

**楚焼** るらららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

**黒豆** るらららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

**白角豆** るららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

**葛菁** るらららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

**羅蔔** るらららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

ららららららららららららら  
ららららららららららららら

ららららららららららららら  
ららららららららららららら

**芋莖** るらららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

**牛蒡** るらららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

**芥** るららららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

ららららららららららららら  
ららららららららららららら

**独活** るららららららららららら  
けりりりりりりりりりりり

ららららららららららららら  
ららららららららららららら

**生薑** るららららららららららら  
けりりりりりりりりりりり



魚 脾胃よりいへばはては  
ありくちひくちひをたもりて  
とちらす

鯨 煮て用胃よりいへば

うなぎのへんといふす葉のうなぎ

鱈 煮て用脾胃と

わさびのしちちとすあわてし

万のうなぎのうなぎ

鱈 煮て用脾胃と

海月 煮て用脾胃と

脾胃をねいふはうらうら

鳥賊魚 煮て用脾胃と

みんげすのめいすのめいす

らげてあて用脾胃と

とちらす

牡蠣 生煮て用脾胃と

とんんとしす中焦よりいへば

煮て用脾胃と

中焦よりいへばはては

鱈 煮て用脾胃と

らげてあて用脾胃と

魚 煮て用脾胃と

青鱈 煮て用脾胃と

ゆらぎす

いやく...  
いやく...  
いやく...

鶏トリ ちくちくびくちくちく...  
くすねを痔ぢとす寸

雲雀クズク えんちひようちくちく...  
さよ移り片かたが形かたちなり

鳴ナリ うつちかちり...  
雀セキ えん十片を片かたまで用もちひ

腎じん 腎じんとあつちくちく...  
牛肉ぎゅうにく えんちひよちく用もち脾胃いとす寸

とつちくちく...  
とつちくちく...  
とつちくちく...

羊肉じゅうにく えんちひよちく...  
中品ちゅうひん ちくちくちく...

赤あか ちくちくちく...  
赤あか ちくちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...

とつちくちく...  
とつちくちく...



わのそんせし腹とせうりしんせと  
うふ実かかむた用ひてしんせ  
うあけあし

濟 は せんせんとあらしし百病  
わくごののしんせうりすあひしんせ  
とんせし血とせうり脾胃とせうり  
あひ用ひてす

茶 は 合はる用て胸中せうり  
後りとせうり額目とせうり後りと  
とせうりしんせとせうりしんせあり  
用ひて身のあひせうりしんせあり  
とせうり実とせうり用ひてしんせあり

あひ用ひてすありしんせあり  
はまのあひせうりしんせあり  
葱 は せうりしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり

しんせありしんせありしんせあり  
けいはい用ひてすせうりしんせあり  
しんせありしんせありしんせあり  
しんせありしんせありしんせあり  
しんせありしんせありしんせあり

非 は せうりしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり

荊 は せうりしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり

山 は 脾胃の気とせうりしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり

葛 は 実とせうりしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり

菟 は 實とせうりしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり  
用ひてしんせありしんせありしんせあり

ひもの水派ありこころと女よりらぬ  
べつ寸毫といひ

**藜** 脾胃の移りしん家なほれい  
あけ用むべし寸

**蒲葦** さいふとせりし血神り  
さう乳癌をむ用べしさいふれいの

くおけあ  
冬此さいふのあさけ湯痰一切け  
移りし用べしさいふれいの

越凡 さいふ実移りれやれ用べしさいふ  
れいあけ用むべし寸

作筆 さいふ脾胃の移りしんり  
さいふさいふれいあけ用むべし寸あり

用の進けさいふれいあけ  
淡菴 息夜二種より脾胃の移り  
さいふさいふれいあけ用むべし寸

くらくらりりけ痔あけ用むべし寸  
**粟** さいふ腎とあささいふれいあけ

さいふれいあけ用むべし寸  
さいふれいあけ用むべし寸

さいふれいあけ用むべし寸  
さいふれいあけ用むべし寸

さいふれいあけ用むべし寸  
さいふれいあけ用むべし寸

さいふれいあけ用むべし寸  
さいふれいあけ用むべし寸

さいふれいあけ用むべし寸  
さいふれいあけ用むべし寸

さいふれいあけ用むべし寸  
さいふれいあけ用むべし寸

さいふれいあけ用むべし寸  
さいふれいあけ用むべし寸

さいふれいあけ用むべし寸  
さいふれいあけ用むべし寸

檣

えんろくともち胃とひしこ腫

中

と利味のきにかのけひしこす

る

はえとありひしこまをれ今も

べ

す

敷布

えんがゆいひしこまをれ

し

ひちちちあ

藕根

えんせはくちちちちちちちち

と

ちちちちちちちちちちちち

み

ちちちちちちちちちちちち

難

えんちちちちちちちちちち

と

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

難

えんちちちちちちちちちち

用

えんちちちちちちちちちち

難

えんちちちちちちちちちち

と

ちちちちちちちちちちちち

難

えんちちちちちちちちちち

り

ちちちちちちちちちちちち

難

えんちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

海

えんちちちちちちちちちち

病

えんちちちちちちちちちち

江

えんちちちちちちちちちち

し

ちちちちちちちちちちちち

難

えんちちちちちちちちちち

氣

えんちちちちちちちちちち

蚶

えんちちちちちちちちちち

う

ちちちちちちちちちちちち

五

ちちちちちちちちちちちち

田

えんちちちちちちちちちち

螺

えんちちちちちちちちちち

入

ちちちちちちちちちちちち

自

ちちちちちちちちちちちち

の

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

ち

ちちちちちちちちちちちち

くはりの病と云ふは、こゝろの病  
の人には、胃の病と云ふは、こゝろの病  
に似て、

**海螺** 年ひくく目の病に似て、

胃の病に似て、

**菜螺** 胃と云ふは、胃の病に似て、

胃の病に似て、

**玉餘臭** 中と云ふは、胃の病に似て、

胃の病に似て、

**臭臭** 腸胃と云ふは、胃の病に似て、

胃の病に似て、

**大口臭** 腸胃と云ふは、胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

**臭** 中と云ふは、胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

胃の病に似て、

雞トリ えん 小ぶらぎ せきせき せきせき せきせき

黄雌雞ワウシトリ とく 温 移り 移り 移り 移り

とく 温 移り 移り 移り 移り 移り 移り

血クハ 移り 移り 移り 移り 移り 移り

白鷺ハクニ 中 移り 移り 移り 移り 移り 移り

へん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

鹿肉カノコ えん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

ま 移り 移り 移り 移り 移り 移り

へん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

猪肉ニク えん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

ま 移り 移り 移り 移り 移り 移り

と 移り 移り 移り 移り 移り 移り

く 移り 移り 移り 移り 移り 移り

猪肉ニク えん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

ま 移り 移り 移り 移り 移り 移り

ま 移り 移り 移り 移り 移り 移り

ようり 移り 移り 移り 移り 移り 移り

○下品ゲガク 移り 移り 移り 移り 移り 移り

糯米コメ えん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

形 移り 移り 移り 移り 移り 移り

移り 移り 移り 移り 移り 移り

の 移り 移り 移り 移り 移り 移り

く 移り 移り 移り 移り 移り 移り

あ 移り 移り 移り 移り 移り 移り

麵コメ えん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

寸 移り 移り 移り 移り 移り 移り

蕎麥ソウ麦 えん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

う 移り 移り 移り 移り 移り 移り

形 移り 移り 移り 移り 移り 移り

あ 移り 移り 移り 移り 移り 移り

へん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

胡麻油ゴマ油 移り 移り 移り 移り 移り 移り

へん 移り 移り 移り 移り 移り 移り

錫あかし 仏少用也凡脾胃をあた  
るひくはれとちめせまんとやちまよ  
くとすじあかりとちくまれいち  
まんをうりあつていひい  
賜あま子 不邪ほつと所りまがり  
とすじひくしんかかりく用也ぐす  
棘いばら子 せんが用也たさき成利  
し後念とせんまうまれのあを  
あむあかりとちくすれをぬと巨  
然とやぐろ病入用也ぐす  
菊きく せんまうとせじいんべと  
まゆあかりとちくすれをぬとく  
くととちくす  
菘ほうとう子 煮てか用也一塵冷の  
んあけれとせんまうあかりとちく  
まれだくさながびこしとちく胃  
のまんとやぐろ

杏あんず 乾濕移りせいのせま  
用一あかりとちくすれとちくろ  
とちく又ハ胃のまんとやぐろ  
熟うす此 ぼびひかれなまか一用ひく  
臭いとけいかにせまひあかりと食  
とれどおせんちくろのまんとやぐろ  
れいのまは用也ぐす  
研けん此 せんまうとちくすれとせん  
かすいさうろけとちくすれとちくろ  
ゆれせんのまんとちくすれと用也ぐす  
蓼れう葉 せんまうとちくすれとちくす  
とちくすれとちくすれとちくすれ  
いとつととちくすれとちくすれ  
囊ふくろ荷 せんまうとちくすれとちくす  
とれいやくせんまうとちくすれとちくす  
とちくすれ  
菘ほうとう せんまうとちくすれとちくす

用也... 薺菜... ところろく

蕨菜... ところろく

紫菜... ところろく

沙糖... ところろく

茵陳... ところろく

木車... ところろく

菱角... ところろく

枇杷... ところろく

拓撥... ところろく

梨... ところろく

楊梅... ところろく

根檜... ところろく

食... ところろく

梨... ところろく

の... ところろく

食... ところろく

さ... ところろく

りく食をれいさよ移りてくさくさ  
椒 二氣とくく煩満とくり

くらぬくはとめありく食をれい  
齒とくく骨とくく塵移り  
杏 移りく食りて骨とくく

移り病出  
桃 移り多食をれ移りてく  
ト腸とくありく

椰子は腸胃移りてく腸と  
とありありく食をれい脾ひえ腸と  
泄りけんてとく

胡椒 二氣とくく中とありあり  
のくく又いさひぬとくく冷腹痛  
とくくありく用中より肺とくく

とやつ病入とくく  
常山 葉は月分り毒山とくく  
さの根あり世同くははれさく

と移りて用ありくやまりく  
胃氣とくくト風とくく  
野老 海とくく胃虚不食はは

よ形とくく  
河牝 移り腸胃とありあり腰脚を  
さあ痔とくく虫とくくありあり

りく製成とくくはれんてくく  
子合子とくくは毒ありあり  
地味とくく

蟹 二脚中の移りて痛な  
とありあり地味とありあり  
標とありあり食りて風とありあり

凡んくく女は用とくく  
海老 朝新の毒とくく生海草  
口腸わのくくは毒のくく

ららるは行徳とくく毒入りあり



雉 い 其れ月...   
 中...   
 痔...   
 下血...   
 痛...   
 蓄...   
 入...

**鶏** い 中...   
 **鴛鴦** い 中...   
 **熊** い 中...   
 **魚** い 中...   
 **肉** い 中...   
 中...   
 月...   
 中...   
 血...   
 痔...   
 痛...   
 蓄...   
 入...

女...   
 中...   
 月...   
 中...   
 血...   
 痔...   
 痛...   
 蓄...   
 入...

**脚** い 中...   
 **脚** い 中...   
 **脚** い 中...   
 **脚** い 中...   
 **脚** い 中...

石耳	壺層	芋	白苣	紫縷	萊蕪	大蒜	韭	覆盆	紫菀	○穀部	○草部
久瓜	葛藟	葛藟	葛藟	雞腸	生薑	菘	菘	昆布	地層		
越瓜	零餘子	藜蘆	藜蘆	葛菜	胡蘿蔔	芥	胡葱	陝西厘	藜蘆		
紫菜	竹筍	蕨	蕨	馬薺	水蘊	白芥	薤	乾苔	牛蒡		
木耳	茄子	蕨	蕨	苦菜	蕨	藍菁	小蒜		薺蘆		

日用食性能毒目錄

義良太人隨  
 家方有補中藥  
 傳言鐵金補  
 傳言鐵金補

胡麻 小麦 大麦 荞麦 稻米

胡麻 小麦 大麦 荞麦 稻米

玉蜀黍 粟 粟 林米 蜀黍

黑大豆 黄大豆 赤大豆 绿豆 薏苡仁

豌豆 刀豆 大豆 豆腐 绿豆

粥 越 饅头 粽 蒸餅

餡餅 醬 醋 酒 燒酒

葡萄酒 酒糟 采靴 醋 酒

五加 木部 枸杞

菓部 梅 桃 栗

李子 杏 梅 桃 栗

東來 梨 柿 標 杷 棗

安石榴 橘 柑 橙 柚

金橋 枇杷 楊梅 銀杏 胡桃

榛 橡汁 榧 海松子 秦椒

蜀椒 胡椒 茗茶 甜瓜 葡萄

汝糖 蓮實 芡實 烏芋 葱姑

鱉真 鱉真 鱉真 鱉真 青真

鱉真 鱉真 鱉真 鱉真 鱉真

鱉真 鱉真 鱉真 鱉真 鱉真

石砬真 鱉真 鱉真 鱉真 石砬真

鱉真 鱉真 鱉真 鱉真 鱉真

鱉真 鱉真 鱉真 鱉真 鱉真

鱉真 鱉真 鱉真 鱉真 鱉真

鱉真 鱉真 鱉真 鱉真 鱉真

海蛇 鱉真 烏賊 章魚 海鮫 文鱉真

木龜 蟹 牡蛎 蚌 馬刀

蟻雄 蛭 石交明 文蛤 蛤蜊



落翦 え ののろりたをあると守

領氣の人へが用い

西漢金 え 能く胸一服とある所の

とある所のと腎と陰のやうに

うけかきられと食されたり中

とわらわらうと胸のやうに

昆布 え 能くうとくわりの

すいもよ用い

てやせ

腹堅 え 中とあるめ食をけし胃

えとけうとくう腹とあめ

乾苔 え らのふ痔と守り

とろと茶積とけき

○菜部

韭菜 え 煮て食され中とある

能くうとくうとあめ

精の連うすうと

用い

腹痛よ

甲の月を月わく

牛肉とけうとくう

葱 え 煮て食され

中とある

等

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

はらうし食とすむじんとくく一節と校  
ど發換の病よりうくく寸三日月  
食すうとあられ

**小蒜** 中とわさめ合とくく  
とくくしんとくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
食をれとくくと食す脚も病あま  
びあられの病あまをれとくく

**大蒜** 中とわさめ合とくく  
食とけし冷れいんぶとくくくく  
らん腹痛さじ之食をれと目とく  
くくくくくくくくくくくくく  
四月八月よりくくくくくくく神と  
やうせんそくく

**菘菜** 腸胃と通利しむれい  
それと酒湯とけし食をれし  
れとくくくくくくくくくくく  
それと皮膚のゆとくくくくくく  
いのくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

**菘菜** 中とわさめ合とくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

**葱** 中とわさめ合とくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

**葱** 中とわさめ合とくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく



苦菜 一 惡瘡痔瘻血腫とくく

目とわらふれを脾胃虚氣をくく

白芷 一 筋骨とわらふひびきと

利しひの痺れとひびきと

了し痛けりと痛く換て海と

ゆ寸とあんとつとく考を合と

きよれいんは月と寸考を合と

苦曹 一 んかきと利しひびきと

うしとちちとくくくくくく

けり 乳けとつとくくくくく

又毒ありそのどにわらむと

けらるるくく

蒲公英 一 不食とくくく

癩毒とゆくく 惡瘡はと消を

人乳とくく

嚴其及根 一 癩毒とくく

とくくくくくくくくくく

合をれむはあかりくく

葱 一 けりくく

辛 一 勝胃とゆくく

ら神とくくくくくく

好食をれむとあかりくく

れむとくくくくく

は合すとくく他月た合すと

系葉はがとのくくくく

かんのとくくくくく

藜蘆 一 虚方とわらひ中と

うひびかとくく 肌肉とく

つとくくくくくくく

はくくくくくくく

更余 一 えんえんとあ

わいとくくくくく

まらくく



竹節 びうしんあおてい 痺れと  
あし後 びうしんあおてい 痺れのと  
とんえんとき

痲子 血とちり 痲とちり 腫消  
し 痲とちり 血とちり 痲とちり

つとらうとまわりの人ばかり 食  
とぐとまわりの人ばかり 食

はわすれなかり 食とちり 目と痲  
とて共子宮とやう

動農 ぶんとつと 痲とちり 心  
痲とちり 石とちり 痲とちり 悪瘡

口中れあつた痛とけすあつた食  
とれども 痲とちり 痲とちり

あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

久病のこの痲とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

越此 腸胃と利し 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

紫菜 足の脚とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり  
あつたと食とちり 痲とちり 痲とちり

用白土一斤即其法

木犀 一 批毒の本に...  
けあ... 痔女の...  
常々合すべし

石胆 一 色... 目...  
一 粉... 一...

○穀部

砒麻 一... 肌肉...  
一... 耳...  
一... 腸胃... 肌肉...  
一... 血... 一...  
一... 一... 一...  
一... 一... 一...

一... 痛... 性...  
一... 小胡麻油... 腸胃... 利... 漿...  
一... 食... 虫毒... 利... 一...  
一... 小... 一... 一...  
一... 一... 一...

麩 一... 一... 皮膚...  
一... 腸胃... 一... 一...  
一... 一... 一...  
一... 一... 一...

大... 一... 一...  
一... 一... 一...  
一... 一... 一...  
一... 一... 一...  
一... 一... 一...

とやういふとき、白濁、白濁、のたき  
あり、食をたれを凡そうごめ、眩暈寸  
新、たれとぞ、耳目と利と効、食  
とれし、うごらん、中、中、中、  
**稻糲**、えむとあけ、えむとさ、  
あり、食をたれを効とゆら、かむ  
ゆらあり、食をたれを効とゆら

**糲**、えむとあけ、えむとさ、  
のたき、食をたれを凡そうごめ、  
新、たれとぞ、耳目と利と効、食  
とれし、うごらん、中、中、中、  
あり、食をたれを効とゆら、かむ  
ゆらあり、食をたれを効とゆら

**和**、えむとあけ、えむとさ、  
中、中、中、中、中、中、  
あり、食をたれを効とゆら、かむ  
ゆらあり、食をたれを効とゆら

**稷**、えむとあけ、えむとさ、  
あり、食をたれを効とゆら、かむ  
ゆらあり、食をたれを効とゆら

**黍**、えむとあけ、えむとさ、  
あり、食をたれを効とゆら、かむ  
ゆらあり、食をたれを効とゆら

**蜀黍**、えむとあけ、えむとさ、  
あり、食をたれを効とゆら、かむ  
ゆらあり、食をたれを効とゆら

**粟**、えむとあけ、えむとさ、  
あり、食をたれを効とゆら、かむ  
ゆらあり、食をたれを効とゆら

**粟**、えむとあけ、えむとさ、  
あり、食をたれを効とゆら、かむ  
ゆらあり、食をたれを効とゆら

とらり 元氣を補ふこと守らるれば  
胃熱らつゝとらるればと利し胃  
冷のありて食すべからず否に同食  
とべからずこと守す

**秫米**

大腸を利しとらるれば

ひさびさとして湯飲にのみ  
とらるれば用つてのよ用ひて守らるれば  
氣とらるればとらるれば守らるれば  
蓄積にひさびさとして

**杏仁**

腸胃を利し

水腫とらるればとらるれば  
味脚氣とらるればとらるれば

**聖子**

胃を利し

及胃胸中たんとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば

**三便**

とらるればとらるれば

**黒大豆**

とらるればとらるれば

その元氣とらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば

**黄大豆**

中とらるればとらるれば

と利し水腫とらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば

**赤豆**

水腫とらるればとらるれば

とらるればとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば  
とらるればとらるればとらるれば

とこの目とあまうらばと

緑豆 えきま 煮て食せしめてすいめと

瀉 えん 下泄利とらめ小づん

と利 えん 勝胃とほろろ えん 経脈と

通ひ えん 少脈ありや えん ぐと えん せ

白豆 えん 煮て食せしめてすいめと

の えん 二 えん 経脈と えん け えん 勝胃と えん せ

と えん 多 えん 者 えん 煮て えん せ えん と えん 利 えん えん せ

既豆 えん 煮て食せしめてすいめと

と えん 泄利と えん せ えん 小づんと えん 利 えん と

刀豆 えん 中と えん 煮て えん せ えん と えん け えん 勝

胃と えん 利 えん えん せ えん と えん せ えん と えん せ えん 腎と えん 海

と えん せ えん と えん せ えん と えん せ えん と えん せ

大豆 えん 傷 えん せ えん せ えん 頭痛 えん せ えん せ

せ えん せ えん と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

と えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ えん せ

移つて所る大不勝とつて此垂葉の  
中とあつため下とあつては葱散りの  
ものをしらつてよくとけし粉ねる  
うい様とあつたは血をゆるし腎を  
とます生薑の中とあつたは西薬  
とあつた炒麹粥も入く合すは利と  
と心焼通うのは今く合すは血痢を  
散るは煎薬をとりすはすま  
れをすすむはすはすはすはすは  
種茶とりしてれすすすすすす  
無酒このがれ水はしらつてよく  
を煩燥とのがれ通をよむ大勝  
と書す

鮫

鮫は魚の中とあつたは小づん  
とあつたはとあつたは山見よむ種  
鮫脾胃の中とあつたは勝とあつたは  
とあつたは清淨しやう

餅

餅は青きとあつたはのこりら

菜餅

菜餅は食をゆるし脾胃をやすむ

中とあつたはとあつたはとあつたは  
まー血とあつたはけあせとあつたは三焦  
と利はとあつたはすす

訶館

訶館は血をゆるし胸のいづれ  
とあつたはをゆるし肺とあつたは中  
満はとあつたは痛むる是れ痔瘻  
のい

將旨

將旨は香福のこのがれとあつたは  
ある茶及葉湯とあつたは臭はとあつたは  
ひのきとあつたはす又死石のこりに  
あつたはこれ水はとあつたはのこり  
とあつたはすあつたは食をゆるし  
みんとあつたはす葉將旨餅を食す

口上  
五

て食らぬしつとあらず

腫脹しゅちやうとて水腫すいしゅとて

邪よこしまとて積塊しゆくかいとのぞき

茶ちやとて多食たじくをいへば

わらふとて野のにあらざれば

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

酒しゆとて

燒酒 たう 冷積とぎ 濕疹とらり

爵後 しやくご ひき泄瀉とらり

冷痛 れいどう とらり

葡萄膏 ぶどうこう 腰腎とらり 乳色とらり

のびくす

酒糟 しゆそう 中とらり 胃とせし 菜毒

とらり いとらり 府とらり

冷氣 れいき とらり

米枕 まいまくら 腸とせし 胃とらり

下積 げせき とらり

五加葉 ごかえつ 木部

楸杞 しゆき 類とらり

ひふ骨蒸 ひふこせつ の風とらり 漿毒とらり

とらり 一目とらり

とらり 陽刺とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり

とらり



けつとほす枝に... 目とあさうのり也  
とらう 煩燥このそに... 忠と

桃實

核を... 梨とすすむ

今... 核に... 心腹痛とめ... 入候とす

栗實

生あり食され... 肝と

とあさうひん... 核とすすむ... 薬

りんと温... 肝と

白... 肝と

梨實... 肝と

と... 肝と

け... 肝と

ら... 肝と

わ... 肝と

核... 肝と

腫痛... 肝と

の... 肝と

と... 肝と

核... 肝と

よ... 肝と

の... 肝と

取... 肝と

の... 肝と

取... 肝と

鼻の氣とつと勝の氣とびす  
は毒とてくらうのうにさし

**白粉** ちりちりかたおとせす

けし中とちりちり勝とあつし唇

とささかひしんをささかひた

やめさつちと勝守心肺とささかす

あつちとちりちり馬標あつちり

さすちとちりちり下劑とさあまを

あつちとちりちり若及とさあまの

すさしげと合字と下劑下焦と

あつちり脾胃とささかひしん

**梔子** 水と利し酒と胃中の

移つちり

**実石榴** 甘石榴ん咽喉のうにさ

めさつちりちり多食され肺と

ひと歯とちりちり茶とささかひ

あつちり酸石榴ん赤白痢腹痛と

あつちりあつちりささかひさ

それし利崩中ささかひと

**枳實** ちりちりささかひと

胸中腸氣とのぞけ甘者肺と

あつちりあつちりあつちり

まけんちりちりあつちり

**榔** ちりちり勝胃中の移つちり

ささかひとさあまと利とあつちり

さ六肺ひえんとさあま脾胃ひえ

ちりちりあつちり

**橙** ちりちりあつちり

守美ねとちりちり毒とささかす

あつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちり

あつちりあつちりあつちり

かんがふをさしあひつらつて見しつら  
あつたをばす皮のむくをさしあひ  
きしひとあらうらうらうとす  
トんと化

**金橘** 金柑とてさうじつとて  
くくくくくくくくくくくくく

**枇杷** 枇杷とてさうじつとて  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

**楊梅** 楊梅とてさうじつとて  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

**銀杏** 銀杏とてさうじつとて  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

**胡桃** 胡桃とてさうじつとて  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

**榛** 榛とてさうじつとて  
くくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく

**椋** 椋とてさうじつとて  
くくくくくくくくくくくくく

桂實 くわいじつ 不乾の食をせし五痔とほす三

密寸のくさくさ食をせし一節骨とた

らけきのくさくさ一月とあまら

くさくさ食をせし心とほす

多きくさくさも病を治す

海狗子 かいこうし 骨節の毛を所り頭を

うけり肺と心とくさくさ

秦椒 しんじょう 風を治すのぞく歯痛と

く口とあまらく喉痺とくさく

かきくさくさ食をせし心と

系と利と

蜀椒 しやくじょう 邪を治すくさくさ

めくさくさ食をせし心と

頭とくさくさ食をせし心と

かきくさくさ食をせし心と

かきくさくさ食をせし心と

かきくさくさ食をせし心と

かきくさくさ食をせし心と

かきくさくさ食をせし心と

かきくさくさ食をせし心と

胡椒 こしょう 心とくさくさ

とのぞくおんと利と暑月と

と食をせし暑月とくさくさ

と食をせし暑月とくさくさ

な胃のくさくさ食をせし心と

薬力とくさくさ

葡萄 ぶどう 心とくさくさ

ひ小くと利申はくさくさ

凡病一がたまはれあつて食をたれ  
しひひりあつて

**沙糖** 換脹と治すにたま

心腹とらるる、赤腸れ移りて

心腹とす、海毒のきり多食をたれ

心痛ひとあつて、痺とす、治難、

心内く食をたれ、痺とす、

**蓮實** 中とあつて、心とす、

ひひりあつて、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、

心とす、心とす、



よのせすこりて食す

石首奠 胃とひりて食と次蓋

音相 胃とひりて食と次蓋

を体成とすれどもあつて下利及不

くらに腹とすは寸宿とすは寸

喜奠 人とすや 春と食とれ

腎虚清湯と治すは寸の虚後と治す

鶏奠 人とすや 春と食とれ

のふにきりりんとすは寸腹中

鄭奠 人とすや 春と食とれ

いふにきりりんとすは寸腹中

とすは寸下利腸病とすは寸腹中

利とすは寸冬月よりすは寸

胃弱くもすは寸冬月よりすは寸

とすは寸のふにきりりんとすは寸

丹毒凡腫らりては寸とすは寸

胃とすは寸のふにきりりんとすは寸

食とれは寸少熱は寸熱は寸

み八中とすは寸の肝とすは寸

く食とれは寸病とすは寸

のふにきりりんとすは寸

麦門冬とすは寸とすは寸

鄭奠 胃とすは寸の五臓と利と

くらに胃風は寸食とすは寸

くは脾とすは寸とすは寸

せしは疝瘕乃人を用か

鄭奠 胃とすは寸の五臓と利と

くは胃とすは寸の水気とすは寸

くは胃とすは寸の水気とすは寸

鄭奠 胃とすは寸の水気とすは寸

らつとわさるひ脾胃とけ 腸風

血とほすさつとくくと内人とうす

石斑臭 子及ぶさくわく吐瀉と

石盤臭 子及ぶ疥癬とほす

難臭 子及ぶ冷感とこれひと

胃とわくあ冷感とさじ

難臭 子及ぶ王餘臭美くらく食れ

難臭 子及ぶ胃とつらさ

難臭 子及ぶと食れとさあ

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻

難臭 子及ぶ五疳と虫とら 痔瘻



麩臭 人にとりてはひまのちとす  
少くと利しひりては月く有る  
食をれを五痔下血とれをす  
鹿肉とありてはすくまれを鹿甲  
とすまの目のちありてはひりては  
んとすりては野然きとす

蕪臭 人臭とすはしとす

河豚 人臭とすはしとす

脚とありては痔とすりてはす

大毒ありてはまたくんとす

れの大毒に中れりてはす

附子烏頭とありては食をす

のちとす

じりの毒ありては至宝丹

腦とありてはひりてはす

吾方に視花ありては乾燕脂

く粉ありてはありてはす

大よ妙ありては肝及び

主のちりては勝たれ茶

れはとす

海豚臭 勞虫瘴瘧とす

比目臭 人臭とす

多食をれとす

麩臭 人臭とす

うのちありてはす

鳥賊臭 人臭とす

くはす

章臭 人臭とす

海鰐臭 男子に白濁淋病後

らす

文麩臭 人臭とす

らす

らひあてうらまうはなはまらひと帯  
よまれし氣の中を指とや痔と止

海地 婦人らうん積血帯下

少兒風疾めんくを治す

穀 穀を煮てあぶるべし瘡

瘡とあけけしとく湯とさへん守

小兒食をれしあひりのけりたのけ

りらゆべし守

鮑魚 鮑魚とさうり女崩血や

まゆとあす有ては女子の血虚

うけけしと通してくく女よ月守

臭鱈 臭鱈活れあすく切てあ

あく蒸餾とりて食之は温痺と

さう勝脱の水漬のそに胃とひく

大小腸と利し物らうり守

諸せきく積らゆる水よのびる

れをすすきいせられは食をれを

胃の麻とらん

臭鮮 臭鮮とわく一穀のあはわ

のまふとさうり法部はま特留蜂

さうり食をすすくくく治るる雀

乱せりりらの難うさうりの難く

るさあす守

介部

水龜 水龜を煮て食をれを温痺

身とれくくくくくくくくくく

六甲子日十月も食をすす守

蟹 六足四足のその大毒あり

くすくすくくくくくくくく

牡蛎 牡蛎を煮て食をれを虚損

の氣血と海煮く食をれくく

らゆらけれさうりくくくく

らるる

并

酒ごとくしりし眼赤とくしりし目痛  
さ婦人の芳損下血帯下とくしりし  
合多れを凡とくしりし冷気とくしりし

馬力

其功用并

城堆

其蛤よりしりし目痛とくしりし

功用并とあり

規

其蛤よりしりし目痛とくしりし

目とわささるる胃とくしりし丹石

茶毒及疥瘡とくしりし乳けと痛

ほるとくしりし目黄とくしりし目赤

それしとくしりし及冷気とくしりし

石發明

其少と穀功あり目赤

とくしりし骨蒸骨痛とくしりし目痛

とくしりし目痛

文蛤

其悪瘡五痔致送しりし

びし腰のつとくしりし目赤と利

ありし食をれしりしとくしりし目赤

蛤蜊

其おろしりし目赤とくしりし目赤

ひし血塊とくしりし目赤

聖

其虚とくしりし目赤

つとくしりし胸中煩悶とくしりし婦人

産後虚損とくしりし目赤

とくしりし目赤

魁蛤

其池利膿血とくしりし目赤

とくしりし目赤と利中とくしりし目赤

とくしりし陽事とくしりし目赤

とくしりし目赤とくしりし目赤

とくしりし目赤とくしりし目赤

海龍

其目赤とくしりし目赤

とくしりし目赤とくしりし目赤

瀛のまふはれてれとあらふあひ  
黄蓮のまゝ入る目と洗す

田鼠 人者食を食する目  
わく痛脈中結聚るけおんぼく  
まづり子足は腕とみをまじと  
めはとる後と

蝎蠃 目とあさるけおと

二倍と利し黄疽水腫とけり  
痢疾はつし痔漏とけり

海胆 不消渴とけり  
とらあひ五毒と利しおんとも

夢瀛 不消渴とけり  
とらあひ五毒と利しおんとも

○禽部  
鶴白鶴 不血氣力とまきま

鶴 不血氣力とまきま

鶴鷄 不血氣力とまきま

我鳥 不血氣力とまきま

石とまきま人よらうし

消渴とまめ白鷺 蒼鷺

あり瘡腕とゆ守老鷺

食をれとまきま瘡疾と

鷹 不血氣力とまきま

鷓鴣 不血氣力とまきま

らけ害瘡とまきま

と利しや児のまきしとは守丹毒  
 とひ守。黄雌鴨をさしあてて  
 作り。白きをむり。とらふ毒を  
 中とかりし。冷痢のけとかり  
 同のあらふ。人をさす。腸下  
 別の人は月やふ守。さす。り  
 老るる

息 中とかりし 気とまり

食とかり。虫とのぞり。驚。毒を  
 う。ひ。惡瘡。不く。さ。し。守。水  
 毒と守。九月。夜。ま。い。あ。お。ひ  
 ぶ。さ。り。あ。り。ひ。さ。り。あ。の。と  
 う。あ。め。れ。は。お。く。さ。り。ん。さ。り。豆。枝  
 さ。あ。り。く。食。さ。り。守。

打鴨 中とかりし 息とまり

鴛鴦 中とかりし 瘰癧と保  
 夢寐思。異。と。保。守。め。り。食。を。れ。

鷺 中とかりし 胃とまり

鷓鴣 中とかりし 小便利

魚狗 中とかりし 煮汁と

鶏 中とかりし 女人崩漏と

雄鶏 中とかりし 白

鳥雄鶏 中とかりし 中と

腹痛と 中とかりし 腫と

雌鶏 中とかりし 保胎を

心と 中とかりし 宿魚と

癰疽と作す氣と云ふは瘡癤はなま  
らと云ふは胃がらひ腹痛は守  
黄雌鶏中焦のくひと小便はけり  
作す瘰癧氣かと海核髓と云す  
核のりきと云ふは移り氣のくひ用ひ  
く次月は食をうけかへ癰疽は  
漏らすくは虚りくす心鶏は五毛  
ありくはあまらりよまらりら  
若くは瘰癧の若くはけりら若くは  
のひらりの瘰癧と云ふは守少見ぬ  
守食をれい食とせしめあらかし  
とありく食をれい瘰癧と云ふは美  
のきくは食をれい心痛と云ふは雞  
まらまられ癰疽と云ふは守りら  
口く食をれい瘰癧と云ふは守

雞卵 ひん 腎と云ふは小便と云ふは  
陰寒のゆきと云ふは守りら

中の瘰癧のぞり胎と云ふは瘰癧は  
まら風氣は守り瘰癧中は守り  
まらりあまらと食をれい瘰癧  
らと女雞子は雞と云ふは食をれい  
咽と云ふは守り瘰癧と云ふは守り  
食をれい瘰癧と云ふは守り  
瘰癧 ひん 中と云ふは瘰癧と云ふは池  
瘰癧と云ふは瘰癧と云ふは瘰癧  
食をうけり九月十月まであまら  
あり他月は五疔のくひと云ふは瘰  
瘰癧は瘰癧と云ふは瘰癧と云ふは  
まら頭凡眩暈心痛と云ふは守り  
らまらけりら守り瘰癧は五疔下血  
と云ふは守り瘰癧と云ふは瘰癧と云ふは  
瘰癧と云ふは瘰癧と云ふは瘰癧  
山雞 ひん 氣喘と云ふは瘰癧と云ふは  
瘰癧と云ふは瘰癧と云ふは瘰癧



とほみまゝのめいひあつて五勞  
七傷嘔吐血と治す

杜鵑 二 瘡癩虫を治す

鴨 え 前瘻とつとつとつあぢ守

獸部

飛 二 疔病之しんを治す

瘡癩とせし腎とわがまひ移つ病  
の人より血腫とせしれ瘡癩と

ふりし人のくさりとせしくく  
合守ぶく寸金瘡の者より四寸

くく合守れどま力ららる瘡を  
わたりせりくらりくこの病は

れと合守れどま力ららる烏梅  
桔梗黄連胡黄連とつとつとつ

と合守れどほ利とせし姜とく  
けく合守ぶく寸

脂膏 二 勝胃と利小便とつ

とせし血腫と利し凡瘡とく  
瘡とせし虫とく寸梅とあぢ

物 二 九とせしとせしと

しんごとあぢ骨髄とせし勝胃  
とせしとせしとせしと

たと合せし血とせしとせし力  
て合守ぶく寸とせしと

とせしとせしとせしとせしと  
んと寸守やとせしと

か寸黄大とせしとせしと  
羊 二 中とわが頭の治す

汗とせしとせしとせしと  
とせしとせしとせしと

とせしとせしとせしと  
痛はと合守れど必守り

菖蒲と心



牛 黄牛肉 中とやまじり

うー脾胃と中とやまじりいざとあざ

うしろとあざめ及嘔吐と治す業

ととあざはらうしむ月あうす

馬 中とあざの筋骨ゆるし

うーあざとつうしんえとあざ

虎 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す

野 悪心吐せんとうと治す



日用諸疾宜禁示集

生菓	禁物	海月	葱	赤豆	梨	傷寒宜	胡桃	藜	禁物	田螺	葛	大麥	中風宜
栗	麩	鮑	和布	拘把	栗	蝦	久凡	雞	麩	生薑	黑薑	葱	葱
餅	茄	烏賊魚	斯	羊	大麥	薺	薺	油	麵	蛎	牛房	韭	韭
餛	黃	雁	昆布	藕	生薑	乾薑	餅	薑	麩	麩	拘把	筋	筋
胡	批把	海鼠	牛房	野老	芥	狗	栗	蕨	雞	雞	覆盆子	山芋	山芋
小麥	大根	海鼠	陟	干梅	蘿蔔	山椒	豆	鹿	海月	橘	橘	五加	五加



五加葉 枸杞 牛房 欬冬 海月 蛎

鯉 鱈 生菓 麩 油 蕨 胡椒

禁物 生菓 大根 獨活 山椒 大麥

栗 梁 馬薊 枸杞 鮑 海月

禁物 小麥 蓄麥 餛飩 糖 油

鯛 鮎 林檎 枇杷 胡椒 鯽

水腫宜 小麥 商陸 粟 雞 獨活 大根

禁物 鹽 麩 嬰子 蕨 紫菜

菌 蝦 大麥 大根 山椒 小豆

物 栗 煎 黑大豆 葱 牛房

昆布 生菓 芥 薺 薺 雁 鯽

禁物 麩 蕎麥 菘菜 茄 瓜

芥 薺 薺 芋 芋 標 芋

柑子 胡椒 酒 茵 粟 酢 棗

積聚宜 腫 大根 獨活 山椒 海月

生菓 牛房 蕨 獨活 枸杞 五加 馬薊

天夢 山椒 藕 山芋 鯽 海月

龜 禁物 麩 麵 油 小麥 餅

茄 嬰子 瓜 薯 薯 薯 芋

昆布 芥 生菓 鮑 鮑 鮑 生魚

河魚 鱈 大麥 粟 大根 鮑 諸鳥

翻胃宜 嘔吐 山椒 葛粉 枸杞 五加 海月 鯽





瘰癧 黃梁 小豆 大根 葱白 芥

山椒 胡椒 牛房 田螺 海月 蛭

雙 鴉片 烏賊 田螺 海月 蛭

林木物 櫻 蕎麥 油 豆腐 御米

糯 粉 茄 瓜 蕪 蕪

菌 林檎 揚梅 鯽 鱈 鮑

雉 猪 猪 猪 猪 猪

脚豆 牛房 枸杞 黑豆 小豆 梁

栗 獨活 山椒 葡萄 梅 干梅

橘 柑子 柚 栗 梅 干梅

覆盆 胡麻 角豆 韭 蒜 葱

葱 藕 昆布 和布 防癆 藜蘆

烏芋 茄 大根 杏 揚梅 餅

醉 酒 鮑 鮑 鴨 雞

雞 雞 雞 雞 雞 雞

痛風 大根 牛房 梁 山椒 枸杞

禁物 麩 油 蕪 蕎麥 黃丸

瓠 茗荷 諸肉 蕪 牛房 芥

極 獨活 苧 雙 鱈 田螺

禁物 糯 麵 蕎麥 小豆 瓠

杏 冬瓜 蓼 藜蘆 茵 胡椒

點 雞 李 林檎 楊梅 鯛 鱈

痺證 附麻 查 粟 霍雀 猪 黑豆 小豆 大根



心痛豆	禁物	生薑	中暑豆	茄	瓜	禁物	零餘	胡椒	霍亂豆	鯖	鮓	胡椒	禁物
大根	諸肉	山椒	粟	粥	笋	麩	大根	桃	粟	胡	蕃麥	胡椒	糯米
生薑	麩	大根	梁	餅	桃	糯米	野老	干梅	梁	鮓	酒	石榴	御米
山椒	蕃麥	大根	大麥	河魚	李子	豆腐	炒海鼠	山芋	大麥	鮓	鮓	姜	楊梅
莧	豆腐	葛粉	葛粉	胡	梨	蕃麥	牛房	姜	姜	鮓	鮓	胡椒	枇杷
芥	瓜	胡	胡	胡	胡	蕈	藕	藕	藕	鮓	鮓	鮓	梨

鯉	宰	昆若	消渴豆	鮓	葱	禁物	海月	楊梅	葛	黃豆	酢	禁物	鯉	蒜
田螺	牛房	笋	粟	杏	蕈	麩	雞	胡	粟	粟	海老	蕈	鰻	芥子
海月	大豆	葛粉	大麥	菌	枇杷	油	雁	昆布	大根	梁	鮓	蕃麥	鴈	生薑
韭	橘	葛	葛	卿	杯	蕃麥	鹿	雞	獨活	大麥	卿	麩	黑雞	山椒
茄	枸杞	鮓	鮓	鮓	梨	冬	塙	魚	塙	鮓	卿	油	葡萄	濁活
塙	芥	馬	馬	鮓	麥	糯米	籍	宰	宰	少	鮓	糯米		

禁物

瓠  
鰯

蕎麥  
鰯  
鮎

鹽  
黃瓜

吐血  
所  
血  
鹽

拒  
花

韭

大  
根  
芹

山  
芋  
葛  
粉

零  
餘

栗

陵  
壘  
煎

昆  
布  
牛  
房

落

粟

乾  
柿  
拘  
杞

鴉  
活  
烏  
賊

鰯

鯉

海  
月  
鰻

雁  
鳩

鹿

鯉

蕎  
麥  
拘  
杞

禁物

酒

麩

油

蕎  
麥  
菌

糲

柿

芥

菱

石  
榴  
梨

此

芋

麥

棗

大  
根  
荷

鮓

鰯

鯿

鮎

鰯

鮓

鰯

雉

鴨

猪  
鰯

淋  
病  
宜

粟

小  
豆

葱

冬  
瓜  
茛  
菪

蒲  
公  
虎  
杖

蜜  
桐

葱

葱

宰  
刀  
大  
豆

禁物

麩

蕎  
麥

鹽

桃

芥

胡  
瓜

酸  
物

馬  
菹

姜  
桃  
仁

秘  
結  
豆

栗

蒲  
公

姜

桃  
仁

禁物

御  
米

麩

蕎  
麥

小  
豆

蕨

醋

鰯

鮎

鰯

遺  
尿  
遺  
精  
豆

糯

韭

覆  
盆  
芥

鰯

菹

雞  
拘  
杞

五  
加

紫  
葦

海  
月  
鰯

禁物

小  
豆

茄

瓜

笋  
葱

禁物

黑  
豆

黑  
蘘

葱

藜

眼  
目  
宜

牛  
房

零  
餘

蔥

栝  
樓  
拘  
杞

山  
芋

柳

荊

落

陵  
壘

東  
棗

柳

荊

赤  
豆

落

鰻

鯿

田  
螺

海  
螺

鯿

鮓

鮓

風  
眼

葱

芥

禁物

酒

油

姜

蒜

蕎  
麥

蕨

韭

栗

山  
椒  
芥

禁物	薑	耳病宜	諸鳥	三舌乾宜	雜	蓄麥	禁物	鼻	風呂	鳴	鯉	鰻	鮪	鮓	茄
棗	芥	牛房	荳	石榴	麥	棗	干	枳	湯	鷺	烏賊	鰻	鮪	鮓	胡瓜
枇杷	筋	韭	批	梨	胡麻	石榴	李	筋	房事	鳴	鷓	鰻	鮪	鮓	五辛
桃	鮓	鯽	鮓	梅	黑豆	蕨	餅	茄	猪	河魚	鰻	鮪	鮓	鮓	葱
杏	烏賊	粟	杏	熟粉	蕪	胡瓜	薑	芥	狸	鴨	鰻	鮪	鮓	鮓	薑
石榴	海鼠	柑子	石榴	葛粉	餅	梨	大根	藕	羊	山雞	鱒	鮪	鮓	鮓	薑

禁物	薑	耳病宜	諸鳥	三舌乾宜	雜	蓄麥	禁物	鼻	風呂	鳴	鯉	鰻	鮪	鮓	茄
杏	馬	韭	大麥	栗	胡瓜	桃	干	梨	梨	刺	胡瓜	石榴	蓮子	牛房	楊梅
桃	蒜	薤	薤	茄	李	辛	零	零	零	零	梅	棗	杏	烏	薯
胡瓜	海鼠	酢	芥	梗	餅	零	零	零	零	零	梅	棗	杏	烏	薯
麵	海月	海	生	揚	薑	牛	牛	牛	牛	牛	梅	棗	杏	烏	薯
油	對	對	葱	胡	大	筋	筋	筋	筋	筋	梅	棗	杏	烏	薯

酸物	笋	烏茅	禁物	鯉	山芋	大根	葱	傳屍豆	夜食	雉	鱒	鮓	棗	芋
蒜	醬	蕨	石榴	鴨	野老	大豆	芥	栗	生食物	鴨	鮓	鮓	桃	菱
生	重豆	餅	杏	魚	覆盆	角豆	藕	推	兔	蝦	鮓	杏	蕨	蕨
山雞	飴	蕎麥	棗	蛭	規	和布	韭	零	猪	猪	鱒	梅	蕎麥	蕎麥
猪	蒟蒻	梨	梨	鱒	落	陵	葱	標	飽	石炭	鮓	梨	笋	笋
	油物	芥子	胡	鮓	菊	葛粉	牛房	姜	晚食	鮓	鮓	白	酒	酒

禁物	龜	芥子	諸鹽	蕨	禁物	鷹	鹿	鯉	生房	覆盆	飲水豆	鯉	莞	茄
瓜	瓜	菓	樞	山椒	胡	鹿	鯉	韭	宰	栗	干柿	雄	芥	芋
昆	麩	蕨	山椒	蕎麥	茄	鯉	柴	蕨	小豆	熟柿	老	抽	薯	薯
黃	飴	通草	胡桃	麩	餅	蕨	葱	藕	蕎麥	栗	李	餅	餅	餅
冬	糖	酢	蒜	酒	酒	石炭	胡桃	葛粉	蕎麥	橘	標	酒	酒	酒
油	油	鯉	胡葱	房	姜	海月	大根	笋	大豆	梅	野	野	野	野

癩風豆 栗 梁 大麦 黑豆 小豆  
大根 蒲公 馬荳 牛房 狗活 茶  
昆布 胡麻 山芋 和布 野老 薑  
覆盆 陸塵 耶 藕 田螺 鱧  
龜

禁物 生肉 生菓 麥粉 胡椒 山椒  
茄 麩 姜 蕨 蕎麥 餅  
鮓 麩 房事 韭 胡桃 覆盆  
鴈 海鼠 勒 韭 胡椒 覆盆

禁物 蕨 蕎麥 大根 醬 芥  
痔瘡 粟 蒲公 苦苣 昆布 檉  
胡桃 笋 黑豆 牛房 干菜 耶  
小豆 覆盆 陸塵 葱 干菜 薑  
鮓 蛤 鮓 葱 鰾 鱧 覆盆  
禁物 生菓 酒 麩 鰾 山椒 生姜

梨 茄 胡 蕨 蕎麥 薯  
烏芋 餅 雉 雞 鶉 猪  
瘡疽 附 瘡 癩 漏 丁 瘡 丹 毒 宜 大麥

栗 小豆 醋 蒲公 昆布 若苣  
柘活 石榴 棗 檉 楮子 白丸  
胡凡 笋 陸塵 甘苦 野无 覆盆  
山芋 零餘子 蒴 干菜 薑 粉 汝糖  
干梅 葱 鰾 鯉 鱈 坊  
鰾 海鼠 田螺 烏賊 炒海鼠 海月  
鮓 鴈 鴉 海鼠 鱧 鱧 白鳥

禁物 麩 油 蕎麥 蕨 胡椒 山椒  
菌 丸 葱 五辛 芥 蒜 酒  
榛 栗 榧 梨 杏 梅 芋  
林檎 楊梅 枇杷 菜豆 炒豆 飴  
李 推 推 桃 柚

烏羊	茄	禁物	烏賊	醋	牛房	崩漏帶下豆	鷺	河骨	姜	角豆	禁物	昆布	金瘡	烏獸
胡瓜	冬瓜	麩	鯉	鯉	枸杞	科	鴨	河魚	芥	粥	梨	小豆	柿	獸
館	生菓	蕎麥	雲雀	鰯	五加	科	雞	鮭	葱	大根	栗	牛房	落	
小豆	藕	芥	雁	鰻	羊	麥	房事	鱈	炒豆	茄	餅	芋	藕	
鄭	梨	蕨	海鼠	鰻	李子	芹	鱈	胡桃	蕨	酒	烏賊	筋	筋	
鮑	標	黃瓜	蛎	蛎	陳	乾標	黑鮑	干梅	蕎麥	葛	鮑	通草		

橙	禁物	紫菜	療瘡豆	桃	禁物	小豆	肺癰豆	鷺	蝦	鮑	鮑	黍	去華	菟藟
林檎	麩	蛎	小豆	杏	麩	蒲公	姜	兔	烏賊	鱈	鮑	鮑	角豆	昆布
菌	豆腐	田螺	大根	林檎	胡椒	獨活	大根	狸	辛螺	蛤	鱈	鮑	糯	胡瓜
鱈	茄	蒲公	蕎麥	冬瓜	生房	猪	榮螺	規	鮑	鮑	鮑	鮑	並	芥
鮑	黃瓜	昆布	豆腐	茄	款冬	大	雉	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	烏羊
鮑	蕨	海藻	五辛	蕨	枸杞	鹿	鴨	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	艾

鷄 雉

懷妊宜 大麥

牛房 五加

禁物 梨

姜 烏羊

麩 大豆

鮮 蝦

猪 鹿

牛黃 芒硝

鴨子 牡丹

朴消 兔肉

芫花 天雄

野葛 芥子

牛膝 金石

粟 梁

覆盆 枸杞

烏賊 雁

梅 桃

葛粉 蕪荳

餅 茵

鴨 鳩

大戟 巴豆

皂莢 莽根

礪石 代赭

地膽 藜蘆

附子 側子

牽牛 桂心

鬼箭 蛇蛻

黑豆 大根

藟 芥

杏 李

葱 韭

薤 鮮

蕪荳 兔

薏苡 班猫

半夏 干姜

桃仁 大蒜

童腦 雌黃

瞿麥 槐子

雞子 粉錫

麝香 木通

鹿掌 猪牙

蚕蟲 蟬蛻

妊娠食忌

兔肉 食之 小腹痛 胎動不安

山羊肉 食之 小腹痛 胎動不安

雞子 乾與 食之 小腹痛 胎動不安

雀 食之 酒との 小腹痛 胎動不安

雞 糲 食之 小腹痛 胎動不安

鰱魚 食之 小腹痛 胎動不安

鹽 少 食之 小腹痛 胎動不安

冰 漿 食之 胎產 止

騾肉 食之 胎動 不安

素 椹 鴨 食之 胎動 不安

臨產宜 菟 鷄

禁物 梨 梅 桃 李 烏羊

禁物	覆盆	牛房	痲痘	酒	茄
糯米	枸杞	蒲公	大麥	茵	此
麩	饅	行	粟	蕪	蕪
油	田螺	推	大根	蕪	蕪
飽	海月	葛粉	大根	蕪	蕪
沙糖	五加	五加	葛	蕪	蕪

○小兒科

禁物	蕃麥	薑	薑	薑	薑
生	生	生	生	生	生
酒	梨	梨	梨	梨	梨
小豆	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜
酢	胡椒	胡椒	胡椒	胡椒	胡椒
兔	山椒	山椒	山椒	山椒	山椒

禁物	油	笋	鯛	牛房	痘疹
糯米	沙糖	茄	田螺	五加	粟
麩	洋	洋	麩	枸杞	蕪
鮑	生菓	生菓	五辛	大根	蕪
菌	昆若	昆若	豆腐	蒲公	蕪
蛤	蓼	蓼	藥	海月	蕪

同穢氣とつひり

腋下臭氣  
行遠勞汗氣  
硫黃蚊烟氣  
誤頭髮燒氣  
葱蒜韭韭氣  
醉酒章腥氣

房中淫液氣  
溝糞濁惡氣  
吹滅燈燭氣  
柴烟臭骨氣  
煎炒油烟氣  
麝香燥穢氣



○又禁忌

生人往来

四言罵呼怒

對梳頭

對搔痒

勿掃地

勿荒言

勿飲食哥樂

勿僧道師巫入房

以上穢氣禁忌諸條謹之則重可

變輕不謹則輕變重矣

兒食宜

和布汁

牛房

藕

山芋

禁物

粟

烏芋

糯米

麩丸

胡椒

茄

蕎麥

酒

大麥

醬

笋

茵

餡

冰糖

荳

諸果類塩辛物諸魚鳥酸味物

日用灸法

○灸法と室の灸

男は左女右の灸中指の糸二筋を  
おろし下の指の糸をさしその糸の二  
すを定むいなりおろしはけ外あり頭指  
の糸のひひらりおろしはけ一先名指  
の糸のひひらりおろしはけす中指とさ  
かあを灸むいなりはけわり深のみく  
とす

○髪法と室の灸

凡人の髪法乃分明らるるはるおろし  
髪をけく髪法をさすうらあはるよん  
おのまもれ正中より三寸上の糸を  
おろし定む背の大椎より三寸とす  
髪をけくはるおろし

○禁灸の目

血忌日正しし二つド三つ四つ五つ  
六つ七つ八つ九つ十の十一十二  
血忌日正しし三つ四つ五つ六つ  
七つ八つ九つ十の十一十二  
三つ四つ五つ六つ七つ八つ九つ  
十日十一日十二日十三日十四日  
十五日十六日十七日十八日十九日  
二十日二十一日二十二日二十三日  
二十四日二十五日二十六日二十七日  
二十八日二十九日三十日  
○毎日の人糸  
○百日鍼灸

一日足の天指  
二日外踝  
三日りのり  
四日  
五日らら  
六日て  
七日ららら  
八日足腕のれ  
九日尻  
十日腰  
十一日鼻  
十二日歯  
十三日牙

十四日胃腕脘の下下  
十五日遍身  
十六日糸  
十七日氣衝脘下八寸  
十八日  
十九日  
二十日  
二十一日  
二十二日  
二十三日  
二十四日  
二十五日  
二十六日  
二十七日  
二十八日  
二十九日  
三十日

十二時の人神  
頭寅卯辰辰項巳午  
未服申酉戌腰亥  
右針灸  
大雨大霧雷電虹蜺地震等の  
日多



人亦月也ぐす

○考史の伝

天乳清の白水晶の珠と云く云の目  
と云く月也ぐす天乳清の白水晶の珠と云く云の目  
よよりての清石と云く云の目と云く云の目  
て月也ぐす清油と云く云の目と云く云の目  
重等のあつと月也ぐす又云く云の目  
少く云く云の目と云く云の目と云く云の目  
の禁より来八條ありその内は行  
の二條つものまぐすのこむりしぐ  
史著より他の枝の折ひと云く云の目  
三月三日よよりて月也ぐす又云く云の目  
く云く云の目と云く云の目と云く云の目  
ゆきと云く云の目と云く云の目と云く云の目  
て云く云の目と云く云の目と云く云の目  
て云く云の目と云く云の目と云く云の目

頭面乃部

督神庭の二穴の病の發除よりぐす  
分らより癲狂の病の發除よりぐす  
ふに考より三三仕

同上星の二穴の病の發除よりぐす  
ふに考より三三仕  
及ひ吐血血血は考より三三仕ありと  
ふに考より三三仕ありとふに考より三三仕あり

同顛會の二穴の病の發除よりぐす  
あり眩暈腦冷て痛頭とれと  
ふに考より三三仕ありとふに考より三三仕あり  
三三仕或は五六仕

同前頂の二穴の病の發除よりぐす  
ふに考より三三仕ありとふに考より三三仕あり  
眩暈と及び小兒の病の發除よりぐす  
ふに考より三三仕或は五六仕

同百會の二穴の病の發除よりぐす

あり 頭痛眩暈恍惚鼻赤さざり  
脱肛及小兒の移痢は多かる三壯あり  
ひい毎日灸して三七日はつらう一壯は  
五壯とすま守ぐす  
同後頂の二穴は其の髮際より寸  
五分より寸五分の頭がり眼くらきま  
多かる三壯  
同強脚の二穴は其の髮際より八寸  
五分より寸五分の痛及凡痢は  
多かる三壯  
足少陽膽經風池の二穴は後枕髮際  
より五分の女衛とあり寸五分の中凡  
えく眼くらし恍惚さるは多かる三壯  
同聽會の二穴耳の穴より寸五分とあり  
けんくらがささちり耳鳴さくえぬ  
は多かる七壯  
手少陽三焦耳門の二穴は耳の穴  
肉のけりさるのくわたり聽會は女  
しつらり聾耳は耳聾痛齒痛は  
多かるとあり三壯  
同翳風の二穴は耳の後の尖る下  
かひれ後のきんとあせし耳のくわり  
徹さるちりり耳鳴さくえぬは口  
喞は多かる七壯  
足少陽膽經車の二穴は耳の下二壯  
多かるあり齒さくえぬ及中凡鼻  
喘斜は多かるとあり七壯  
督脈水溝の二穴は鼻の下と唇のと  
その正中にわりの中の穴ととも滑溜水  
腫てんくは多かる三壯  
任脈養廉の二穴は下唇の下溜さちり  
中凡口熱さるはびららぬは多かる五七壯  
喉胸心腋の部  
同天突の二穴は喉の下より寸五分あり

あり 頭痛眩暈恍惚鼻赤さざり  
脱肛及小兒の移痢は多かる三壯あり  
ひい毎日灸して三七日はつらう一壯は  
五壯とすま守ぐす  
同後頂の二穴は其の髮際より寸  
五分より寸五分の頭がり眼くらきま  
多かる三壯  
同強脚の二穴は其の髮際より八寸  
五分より寸五分の痛及凡痢は  
多かる三壯  
足少陽膽經風池の二穴は後枕髮際  
より五分の女衛とあり寸五分の中凡  
えく眼くらし恍惚さるは多かる三壯  
同聽會の二穴耳の穴より寸五分とあり  
けんくらがささちり耳鳴さくえぬ  
は多かる七壯  
手少陽三焦耳門の二穴は耳の穴  
肉のけりさるのくわたり聽會は女  
しつらり聾耳は耳聾痛齒痛は  
多かるとあり三壯  
同翳風の二穴は耳の後の尖る下  
かひれ後のきんとあせし耳のくわり  
徹さるちりり耳鳴さくえぬは口  
喞は多かる七壯  
足少陽膽經車の二穴は耳の下二壯  
多かるあり齒さくえぬ及中凡鼻  
喘斜は多かるとあり七壯  
督脈水溝の二穴は鼻の下と唇のと  
その正中にわりの中の穴ととも滑溜水  
腫てんくは多かる三壯  
任脈養廉の二穴は下唇の下溜さちり  
中凡口熱さるはびららぬは多かる五七壯  
喉胸心腋の部  
同天突の二穴は喉の下より寸五分あり

を結喉のふくは喉の下三寸  
天突の穴より咳嗽喘急なるは志  
やうり喉中より吐く多し七壯或は五壯  
同璇璣の二穴ハ天突の下三寸にあり  
咳喘痰逆喉鳴も多し七壯あひハ二壯  
同華蓋の二穴ハ天突の下寸にあり咳  
喘のくくも多し七壯

同紫宮の二穴ハ天突の下三寸あり膈  
噎吐血も多し七壯あひハ二七壯  
同玉堂の二穴ハ天突の下寸あり膈噎  
心痛も多し七壯

同膈中の二穴ハ乳の正中のありゆき  
り膈噎咳喘一吐きも多し七壯  
もろ病は便し七壯或は三壯はより  
同中庭の二穴ハ膈中れ下寸にあり不食  
嘔吐腹胃も多し七壯  
同鳩尾の二穴ハ蔽骨の下五分あり

蔽骨の あり蔽骨の下五分あり  
より心へ一指の蔽骨より下寸鳩尾  
あり病は熱多の穴よりあつれども  
てんくまもあつれども三壯多し

同巨闕の二穴ハ鳩尾の下寸あり心痛霍  
乱吐瀉も多し七壯或ハ二七壯

同上腕の二穴ハ鳩尾の下寸あり心悸  
吐瀉も多し七壯

同建里の二穴ハ膈の二寸あり心下  
痞満も多し七壯

同下腕の二穴ハ膈の二寸あり霍乱腹  
痛吐瀉も多し七壯

同水分の二穴ハ臍の二寸あり分水  
も多し七壯

同神闕の二穴ハ臍の中あり腹滿勝

咳霍乱吐瀉一ホアツクセツク等  
手足大陰肺中府の二穴ハ天突の下二寸  
右傍者寸にあり乳の二三肋のらよわ  
り喘急唯嘔及食噎も多寸各廿七  
あつひハ三十壯  
足陽胃乳根の二穴ハ乳の下寸五分よ  
咳逆食噎ひひさうりつひひさうり  
とめくニ七壯あつひハ三七壯  
足少陰腎幽門の二穴ハ巨關の右傍者  
五分あり腋常痛一カヤセツク寸  
ゆも多壯とめくニ壯  
足陽明胃乳根の二穴ハ巨關の右傍ハ者  
二寸あり腋脹痛及食噎も多寸各廿七壯  
足少陰腎通谷の二穴ハ上腕の右傍者  
二分あり肘下に積るものつひと食滯  
せつひ考ハ者三十壯あつひハ廿七壯

足陽明胃兼瀦の二穴ハ上腕の右傍と  
くすにあり腋より右腋と左腋と各廿七壯  
足少陰腎陰都の二穴ハ尾の下三寸  
右傍者五分ありとろろ痛も多  
とめく三十壯あつひハ廿七壯

脘下の部

任氣海の二穴ハ脘下寸五分あり腋  
と霍乱吐瀉やまると嘔寸及久遠久  
利元氣衰及び嘔逆や腹さう等に  
多壯七壯あつひハ三七壯  
同石門の二穴ハ脘下の下三寸あり腋  
積少腹とく疝氣ハ水腫脹とろり及  
婦人の崩漏帯下も多寸三十壯あつ  
ひ五十壯婦人の疝氣針灸もれとろ  
とろあつひハ三十壯  
同関元の二穴ハ脘の下三寸にあり疝  
氣骨積久痢久溲瀦も多寸三十壯

五十七世又舟野

同中極の穴ハ脐下五寸にあり小脈々々  
虫んつゞせらねれりも中々々々ありひの  
ゆゑ多寸三寸半

同曲骨の二穴ハ脐下五寸にあり満痛水  
腫婦人の帯下も多寸三寸半

同會陰の二穴ハ会陰後陰の正中より  
三寸の妙者五寸半多ハ屏翳穴云

足の湯明胃天樞乃二穴ハ脐の五倍と  
の二寸よりあり脈がくくしていゝとく

らん吐沫やます不食也人々婦人の帯下  
も多寸三寸半ありハ三寸半五寸半

同氣衝乃二穴ハ脐下八寸五倍者字に  
わり疝氣囊これ小脈々々婦人月多

さうさうさうの多ととめく三寸半  
足太陽五樞乃二穴ハ脐下五寸五倍と

く三寸半あり疝氣妙者三寸半或ハ

五十七世

○脇側の部

手厥陰心包天池の二穴ハ心包の下三寸  
絶後すより久癒わくハ脇の下痛

喉咽の多者三寸半  
足厥陰章門の二穴ハ脐の三寸より季肋

端よりあり側外して足と伸入の足と肩  
めひらと拳てさかきさかきさかのまわり

及久癒たの脇がさまりありあつた多寸  
とめく五十七世ありハ百世

比月の部中

督大推の二穴ハ脊骨の二の推の骨の二  
よりありかりらるるさしとらるる

ハ三寸より多寸三寸半五寸半  
同身柱の二穴ハ脊骨の三の推の下より癩

狂々々々小兒の癆疝氣も多寸  
倭俗よりけりけりさうさうさう



既子らこころをくは思ふもろく寸息すかこ  
せぬく七音後矣とろわりの痺瘥  
一身よのそわひの筋搦とらに七十五日  
のころふく多す下へ徳三十日のころは  
まうすく寸一はよ三十寸止相續て  
ハ三百止五百止よころへ一貫長くははを  
同神道の二穴ハ才虫の推の下あり頭  
痛し身後ろく忠愁し及久瘧咳軟よ  
灸寸二十止三十止  
同至陽の二穴ハ才七の推の下あり脊  
の強よ是よりく筋力すまきあつて  
まうく多寸二十寸  
同筋縮の二穴ハ才九の推の下あり癩狂  
あつて脊れつては灸寸五寸止  
同懸樞の二穴ハ才十の推の下あり眩  
暈積気のわくくく及腰のむく灸寸  
同命門の二穴ハ才十の推の下あり

秘傳は胸は對するをわくくくくく美月の  
ろくくく人ふりまきくはえあく胸はわら  
あつてろくくくくくくくくくくくくく  
あつてろくくくくくくくくくくくくく  
久瘧腰の痛むくくくくくくくくくくく  
灸寸五寸止の妙あり寸止は寸止  
同陽関の二穴ハ才十二の推の下あり久  
や腰痛及む膝のむく灸寸五寸止  
同腰俞の二穴ハ才十三の推の下あり腰膝  
石れつては筋力あつて寸止のきつて  
痛よ灸寸五寸止百止  
同長強の二穴ハ才十四の筋骨ハ頭よあり  
後宿のろく尾ろくくくくくくくくくく  
く刺之温之熨等腰のむく灸寸五寸止  
背部の才二行  
足太陽膀胱大押ハ才十五の推の下あり  
く寸止あり眩暈頭痛をくくくくくく

多しとあくす吐

同凡門の二穴ハ才二の推の下を傷とあくす  
あまわり頭痛眩暈目疾血血は多すと  
のくす吐百也

同肺俞の二穴ハ才三の推の下を傷とあく  
すまはわり咳喘肺痿心中煩悶さくハ  
吐血らさく一切氣逆は多すと早世あくハ  
百也

同心俞の二穴ハ才五の推の下を傷入于脊  
ののけとあく熱瘰癧のたふれらるる中風は  
多すと

同腎俞の二穴ハ才六の推の下を傷とあくす  
すまはわり久瘧久痢は多すと早世あくハ  
同膈俞の二穴ハ才七の推の下を傷各すま  
はわり胸脹さく背重膈噎吐不食胃  
の氣さくさくあくさくすまはわりさくハ  
各す吐過多あくさくハ心中はさくさくす

傷さくさく

同肝俞の二穴ハ才九の推の下を傷とあく  
すまはわり肝のさく腸痛脹さく目疾  
腸腹あく氣逆さくさくさくさくさくさく  
血等すは多すと百也

足太陽膀胱俞の二穴ハ才十の推の下を傷各  
すまはわりさくさくさくさくさくさくさく  
とあくすは多すとあくす百也

同胆俞の二穴ハ才十一の推の下を傷とあく  
すまはわり脹さくは痢久しとあくす食滯  
さくあくさくさくさくさくさくさくさく  
あくさく痛あくさくさくさくさくさくさく  
等ハ多すと百也あくハハハ百也

同胃俞の二穴ハ才十二の推の下を傷とあく  
すまはわり胸脇妨礙さくさくさくさくさく  
くらあわりハハ脹さくさくさくさくさくさく  
同三焦の俞の二穴ハ才十三の推の下を傷各す

すうりの脈くろ腰のしるまをするまは是  
同腎俞の二穴の才十四の推の下を清とめく  
子もろり腰痛らるる腎虚をくは病  
之くやもすも腹ひえく腎虚の淋病  
等もすも各百壯ありしに百壯百壯  
同氣海俞の二穴の才十五の推の下を清  
をすもはありと刺うよひよ受とめく  
卒に百壯

同大腸の俞の二穴の才十六の推の下を清  
とめくすもはありと刺うよひよ受とめく  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病  
同小腸の俞の二穴の才十七の推の下を清  
をすもはありと刺うよひよ受とめく  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病  
同膀胱の俞の二穴の才十九の推の下を清を  
すもはありと刺うよひよ受とめく  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病  
是痛をすもはありと刺うよひよ受とめく

背の部が分三の

同魄の二穴の才三の推の下を清とめく  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病  
をすもはありと刺うよひよ受とめく  
同膏肓の俞の二穴の才四の推の下を清  
をすもはありと刺うよひよ受とめく  
は病をくは病をくは病をくは病をくは病を  
の二穴をありのひよ受とめく  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病  
すもろり腰痛らるる腎虚をくは病

同神堂の二穴の才五の推の下を清とめく

正の胸背の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり  
同諺語の二穴ハオ六の推の下ニ傍あり  
三寸ハありらるるハ瘰癧胸中背同する  
名守ヲ守也百也

同魂門の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり  
三寸ハありらるるハ心腹の二穴ハオ九の  
ありらるるハ心腹の二穴ハオ九の

同陽剛の二穴ハオ十の推の下ニ傍あり  
あり脾胃虚弱あり食滯あり腹脹  
及泄利ありらるるハオ九の推の下ニ傍あり

同意合の二穴ハオ十の推の下ニ傍あり  
あり腹脹あり背脊ありらるるハオ九の推の下ニ傍あり

同三背門の二穴ハオ十の推の下ニ傍あり  
三寸ハあり腹脹あり腰背ありらるるハオ九の推の下ニ傍あり

同志室の二穴ハオ十の推の下ニ傍あり  
ありらるるハ心腹の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり

同胞背の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり  
三寸ハあり腰背ありらるるハオ九の推の下ニ傍あり  
の腰痛ハ妙ハ名守也百也

肩肘腕の筋  
大陽小腸肩外の二穴ハ肩背の脊あり  
ありらるるハ心腹の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり

肩肘腕の筋  
三指ありらるるハ心腹の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり

和陽明大曲池の二穴ハ肘のありらるるハ心腹の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり

あり中肉ハ身ありらるるハ心腹の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり

小瘰癧ありらるるハ心腹の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり  
同温曲池の二穴ハ肘のありらるるハ心腹の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり  
ありらるるハ心腹の二穴ハオ九の推の下ニ傍あり

とてやんてをるはの尸圖ははわひの并腕に  
鼻辺はちんちんあじしありあかぬまねと  
ずりりはちんちんあかぬあかぬあかぬ  
ずりり  
手大湯小腸支正の二穴ハ腕後五寸はこ  
小指のさよりありはちんちんあかぬ  
まじりちんちんあかぬ五寸は五寸は  
手大湯三焦中涌の二穴ハ腕後三寸無  
名指のさよりありはちんちんあかぬ  
とてやんては五寸は  
手大湯肺列飲の二穴ハ腕後寸五太極指  
と頭指との間ありはちんちんあかぬ  
のほつちちんちんあかぬ  
之癩等ハ五寸は五寸は  
手大湯三焦中涌の二穴ハ腕後三寸無  
節のほつちちんちんあかぬ  
ちんちんあかぬは五寸は五寸は

手大湯明大命命の二穴ハ頭指と極指との  
本手のほつちちんちんあかぬ  
癩疹のそちちんちんあかぬ  
緊列衣るは五寸は五寸は  
同三洞の二穴ハ頭指の本手の後三寸は  
よわりてんちんちんあかぬ  
たかちんちんあかぬ  
二洞の二穴ハ頭指の本手の前二寸は  
あり喉痺口眼喎斜ハ五寸は五寸は  
手大湯肺尺澤の二穴ハ肘と肩の横支の  
あかぬは五寸は五寸は  
ちんちんあかぬは五寸は五寸は  
ちんちんあかぬは五寸は五寸は  
手大湯心包問使の二穴ハ掌後三寸中  
指のさよりちんちんあかぬ  
手大湯心包問使の二穴ハ掌後三寸中  
指のさよりちんちんあかぬ

のまゝあり頭痛眩暈はるるはるる  
あつては

同女衝の二穴は指の内を九つり  
痛心痛平とひは守りては

腿脚の系

女陽膽風市の二穴は腿の外の手を  
ておひとひくちり中指の頭のほろち  
りくちとひくちり中指の頭のほろち

湯明胃三里の二穴は膝の下三寸筋骨

のそと大筋のそらにあり一筋は膝眼の  
下三寸あり二筋あり膈膈版より水

腫便血上三寸目眩をきよまをあり不  
合より二穴守り各三寸はありひは守りては

三寸とあり必く三里とありとへくちり  
と死にあり眼ありとありと寸又骨片

はるる而會とありとありと後ろり寸三里は

多しとへくちりとありとひくちり  
少陽膽陽後泉の二穴は膝下三寸筋骨

の上三寸三里あり寸ありありありあり  
と筋ありと脚筋痺筋痛は守り

各三寸は

同絶骨の二穴は外の踝の上三寸筋骨

と骨と骨ありとありとあり足の筋  
率急しとありとありとあり中筋と

不念にありとありとありとありとあり  
大陽膀胱崑崙の二穴は外の踝のの後

とありとありとありとありとありとあり  
腰痛は守り守り守り

同委中穴の二穴は膝のとりあり後  
正中にあり合ありとありとありとあり

とありとありとありとありとありとあり  
脚筋腰痛筋

棄けりよありとありとありとあり  
交際の二穴は内踝の上三寸筋骨

丘をゆかり病氣候はゆかり腹痛  
及中夜にゆかり其月水さう原若くは  
多す者なり也

大陽脾三陰交の二穴の内踝の上三寸  
骨にゆかりゆかり痛床りゆかりも  
ゆかり也

少陰腎法踏む二穴の内踝の下痛なり  
疝氣ゆかりゆかり也

ゆかりゆかりゆかりゆかり及  
婦人の月水さうゆかり多す者なり  
患門に糸の穴に男は九女は右れ之大  
ゆびの指ゆかり胸ゆかりゆかりゆかり  
あくと鼻の筋ゆかりゆかりゆかり

ゆかりゆかりゆかりゆかり脊の正中  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり

正中ゆかりゆかりゆかりゆかり  
患門の二穴ゆかりゆかりゆかり  
脊の正中の筋ゆかりゆかり  
秘傳ゆかりゆかりゆかりゆかり

ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり

ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり

ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり

ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり

ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり

ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり  
ゆかりゆかりゆかりゆかりゆかり

くまらふまの標心と感あり其中の  
つらと般の馬ありて下下の馬は守  
るべきの心ありて般は馬より  
正中の馬ありて  
秘傳はくすすこれ何病人正法を  
目のもつりよびひの馬ありて  
よき病人の馬ありて目もつり  
とて入るといふことよき  
す又得心と病ありて時ハ其れな  
推ありて一は守り守結後の下  
らよありて虚羸なる病あり  
とて脱してえゆき一風は感あり  
るらう天候温和らる月言候と寒  
とてあつた方平は炭火とあへて  
と鼻の穴と脱せば茶は患門のこと  
の馬の廣の寸とありてありて

般の馬ありてくまらふまの標心  
ひそまたの廣の寸とありて時稗  
あるとてくまらふまの馬ありて  
ひそまたの馬ありて初めあり  
とてあつた方平は炭火とあへて  
と鼻の穴と脱せば茶は患門のこと  
の馬の廣の寸とありてありて  
くまらふまの標心と感あり其中の  
つらと般の馬ありて下下の馬は守  
るべきの心ありて般は馬より  
正中の馬ありて  
秘傳はくすすこれ何病人正法を  
目のもつりよびひの馬ありて  
よき病人の馬ありて目もつり  
とて入るといふことよき  
す又得心と病ありて時ハ其れな  
推ありて一は守り守結後の下  
らよありて虚羸なる病あり  
とて脱してえゆき一風は感あり  
るらう天候温和らる月言候と寒  
とてあつた方平は炭火とあへて  
と鼻の穴と脱せば茶は患門のこと  
の馬の廣の寸とありてありて



又此病、痛あり、病去のな  
きん、痛減さへ、又連日冬也り  
つて、も、種の日、又、痛減る  
日、間、一、付、穴、傷、所、病、痛、さ、多、可  
骨、口、方、熱、え、い、ま、の、世、は、  
り、多、れ、十、全、の、ま、つ、  
え、も、と、は、脱、し、  
右、穴、の、患、は、あ、り、  
く、授、  
腰、眼、乃、元、は、  
午、を、  
た、り、  
多、す、  
二、七、  
方、  
秘、

は、  
多、す、  
虚、証、乃、腰、の、  
此、  
目、  
子、  
り、  
脊、  
癢、  
多、  
男、  
此、  
は、  
ひ、  
多、  
同、

そのらひとひらりとく二條の頭を合  
てふらふのびらびらと指の下の  
よめてぬのくんとせあふまうと想心  
のけつらうらひ元なり  
秘傳のく想心と指のけりひら  
すことごとく一尺のまはつるぐうす  
又二條とひらふは指のゆめり指の  
ゆめりまふらにむくゆひのうらの  
まらふまらふとむくひらびら  
みひらくすく一尺元は元は元の  
正事よあふらうり心気と教へる様  
ゆららむれと愛くめく二尺世世  
竹馬の元は男の元は右の臂は接又  
うら中指のうらまてれすととらてあ  
人竹馬は接ぬんとむひらく竹とせと  
一尺人の足地とむらむくまのくを  
竹馬のくうらとえのちを接まつて

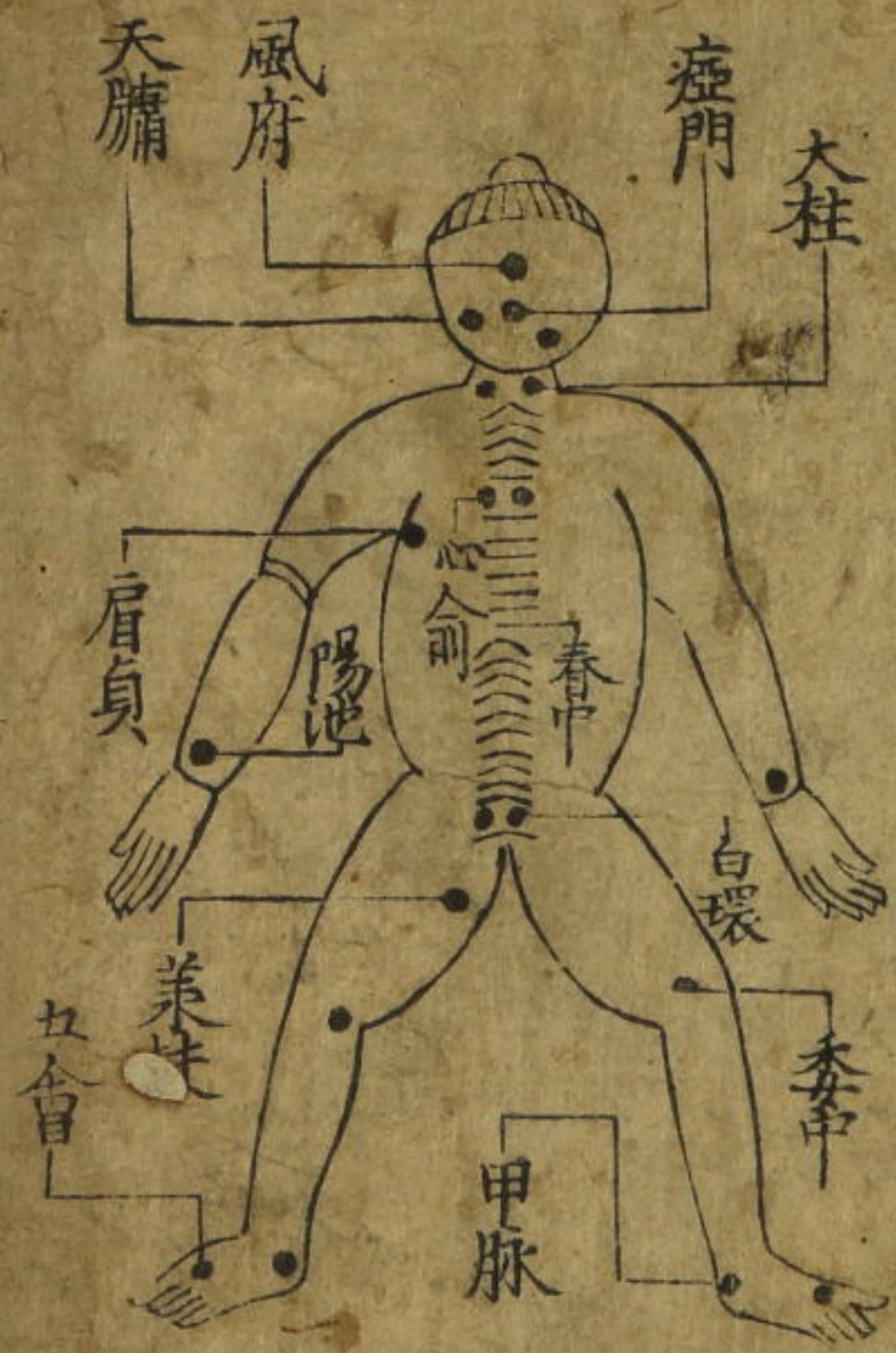
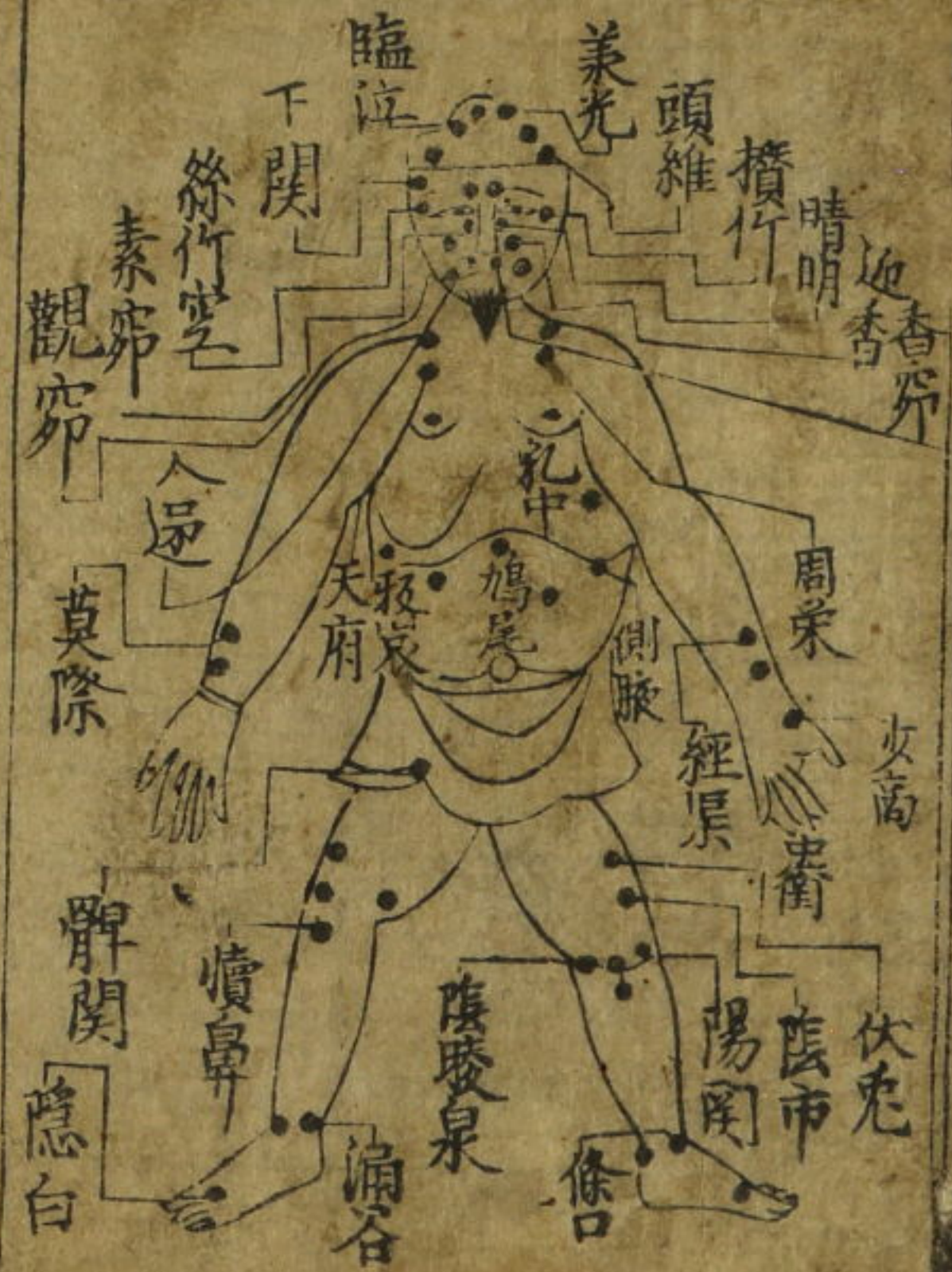
つひてとむれとむらむらとむら  
それうらむら二尺に尺寸うの二尺う  
二尺とせむらとすく一尺とせむら中  
指のゆめり妙あり心痛の秘傳は中  
指のうら元は接のうらむら二分うら  
まて二尺とせむらとむら中指のうら  
帯元うらむら二尺とせむら中指の  
ゆめりひのうら二のうら人のうら二尺  
とせむら  
右眼は膜むらむら中指のむら  
ゆめりは五尺とせむら眼はむらむら  
右眼はむらむらむら  
牙疼はむらむらむら中指のむら  
まてれすとむらむらむらむら  
てるとむらむらむらむらむら  
むらむらむらむらむらむらむら  
むらむらむらむらむらむら

頭施月眩眼外背れよの頭暈を察  
 ら一婦ありしハ二婦  
 症を候は婦気腹痛は是は婦  
 のを候はるる元より身退ひくを以て症  
 ひりら筋力乏しむは右は是れ  
 腰痛筋力乏れ秘多むれとてうめく  
 ぬ敷の内外は此の頭右甲乙三腎  
 多し一或ハ一脚の内外と二腎あり  
 九右とぬはめさふありは腹は年た  
 らう

精筋の多しは右の脚蹠は年た後  
 へのさら重きせて肉をうすむるハ  
 七世或ハ七世  
 中患流懸そん丸塊れるるははめれ  
 大指とありてはしり合はてをうす  
 てぬれ丸ありは中候ありははは  
 ら七世ありしハ七世あるのありははは

まのくは腎虚あり一候は是とて  
 ありははははははは  
 婦人月水さのりすさいはてははは  
 胞門の二元辛仕多寸穴八固元九二寸  
 あり婦人の中脈は血塊ありははは  
 崩漏帯下久候等あり多しははは  
 損産逆産及び胞をうすは右の脚  
 の中候の頭はさりハ三世ありしハ五世  
 有観願ひりてありてははははははは  
 考元元とあり五世ありしハ七世あり  
 覺の奮目疾えははははははははは  
 中の横文のられ頭は多しははははは  
 二世多しハ  
 越候の乳癖ハ乳の下すハ三世あり  
 河是の元ハ秘中の秘あり

禁灸穴之圖



禁灸の穴

兼光の穴は禁灸は不可守

瘞閉の穴は不可守

凡府の穴は不可守

天柱の穴は禁灸は不可守

素髎の穴は禁灸は不可守

陰交の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

臍中の穴は禁灸は不可守

水府の二穴ハ人中の好傷也其各ま  
わり申す鼻の下れみぞなり水溝の穴  
なり

顧邪の二穴ハ顧鳩骨の傍あり

紫竹元の二穴ハ耳の傍あり

頭維の二穴ハ頭の角あり

下関の二穴ハ耳のまへあり

脊中の二穴ハ脊の骨の推の下あり

肩貞の二穴ハ背の肩の下肘の傍あり

心俞の二穴ハ背の脊の推の下あり

白環の俞元ハ背の脊の推の下あり

天牖ハ穴頭大筋の傍あり

二寸あり

二寸あり

人迎の二穴ハ喉の傍あり

乳中の二穴ハ胸の乳の傍あり

周榮の二穴ハ天突の下三寸あり

淵腋の二穴ハ腋の下三寸あり

鳩尾の二穴ハ脊骨の下三寸あり

腋衰の二穴ハ中腕の傍あり

少商の二穴ハ手の指の傍あり

中衝の二穴ハ手の指の傍あり

中衝の二穴ハ手の指の傍あり

中衝の二穴ハ手の指の傍あり

中衝の二穴ハ手の指の傍あり

中衝の二穴ハ手の指の傍あり

中衝の二穴ハ手の指の傍あり

甲と三指ヲ並列のこころ也  
陽明の二穴ハ陽明泉ハ膝下寸先名指  
のこころあり三里より寸先のこころ  
陽池の二穴ハ尺澤のこ腕の脛と先名  
指のこころあり

地の五會二穴ハ足の元名指の骨節の  
後のらりあり百會の五會也と春  
三會故よんは是よりあり地の五會  
陽明の二穴ハ足の太指の内側元の甲  
とあり身並列のこころあり

漏谷の二穴ハ足内踝とさすあり太陰  
經也陰陵泉の二穴膝の下内の側骨に  
下の脛也是と伸てあり

條口の二穴ハ三里の下寸ありあり  
犢鼻の二穴ハ膝眼の下あり

陰市の二穴ハ膝のこ三寸あり陽明  
經あり

伏兔二穴ハ膝のこ三寸ありあり  
靜風の二穴ハ膝のこ伏兔は後後中

委中の二穴ハ膝の凹處の後の正中はこ  
動脈のこころ也

跗門  
申脈の二穴ハ外踝の下  
養枝の二穴ハ尻のト股の上後の中

已と

洛下玄朔敬識



寛文拾三歳

癸九月吉日 松會開板

